

掛川「期待の星」軽快にダンス

市内の中学生 文化系部活動発表会



軽快なダンスを披露する部員たち＝掛川市美感ホールで

掛川市内各中学校の生徒が集い、学校の枠を超えた文化系の部活動に取り組む「地域部活・掛川未来創造部 Palette」の活動発表会「地域部活プレゼン&パフォーマンス in Kakegawa 2020」が二十六日、同市美感ホールで開かれた。部員によるダンスや創作劇の披露をはじめ活動内容などを紹介した。

発表会は、女子生徒五人による軽快なダンスで幕を開け、音楽やアート、映像などのコラボによる創作劇「遠州報徳と我が故郷」などが披露された。活動内容を紹介するスライドショーや部員たちのインタビュー動画などもあった。舞台演出や進行、運営などは部員たちが手掛けた。

地域部活のあり方を考え

る講演会などもあり、Palette顧問の斉藤勇さんは「地域部活の可能性を見てもらいたい」と述べ、PaletteをNPO法人化して活動を継続させる方針を示した。松井三郎市長は「部員たちは、掛川の未来の文化活動を担う期待の星。豊かな感性を育んでほしい」とエールを送った。

Paletteは、子ども向け教育事業を展開する「ふじのくに文教創造ネットワーク」が主催し、全国に先駆けて二〇一八年度に創部した。自分の学校にやりたい部活がない生徒の受け皿となる。本年度は市内七校の四十一人が所属し、定期的に集まって音楽や演劇、ダンス、アート、放送などの活動に励んでいる。

(夏目貴史)

(写真)

地域部活プレゼン&パフォーマンス in Kakegawa 2020
オープニング「ダンスパフォーマンス」の様子
(2020.9.26 掛川市美感ホールにて)